

「ゴミ出しのマナー」について知っておこう

ナレーション

たくさんゴミがありますね。

家庭から出されたゴミです。

ここはゴミ収集所です。

日本ではゴミを出すとき、色々なルールがあります。

いっしょに見てみましょう。

ゴミ収集の車が来ました。

おや、1つだけゴミ袋が残っています。

「このゴミは収集できません」 どうしてでしょうか。

「正しく分別してください！」にチェックがあります。

この「分別」はどんな意味でしょう。

「分別」は「ゴミを分けて捨てること」です。

ではどのように分別したらいいのでしょうか。

例えば、ある地域では、汚れた紙や食べ物の残りは、「燃やすゴミ」、ビニール袋やプラスチックは「燃やさないゴミ」に分別します。

分別のルールやことばは、住んでいる地域で決められています。

また、マンションや会社でルールを決めていることもあります。

ルールが分からないときは、ゴミ収集所にある案内を見てみましょう。

案内で使われている「燃やすゴミ」などのことばは、地域によって少し違いますが、覚えておくと、役に立ちます。

最初は、分別することを少し難しく思うかもしれませんが、分からないときは、こんな風に聞いてみるといいでしょう。

会話

アンジェラ：これ、捨てたいです。

アンジェラ：これで、大丈夫ですか。

ナレーション

分別したゴミは、それぞれ別々の袋に入れて出しましょう。

ゴミを分別して出しました。

ゴミ収集の車が来ました。

おや、また1つだけ、ゴミ袋が残っています。

「このゴミは収集できません」

どうしてでしょうか。

「収集日がちがいます」にチェックがあります。

ゴミは「決まった曜日・時間・場所」に出さなければなりません。

たとえば、火曜日、土曜日は「燃やすゴミ」、月曜日は「燃やさないゴミ」と書いてあります。

また、この地域では、ゴミは「8時まで」に出さなければならないようです。

読むのが難しいとき、写真を撮って聞いてみるのもいいですね。

ゴミを出すときには、ゴミを分別し、決まった曜日、時間に出しましょう。

これでゴミが収集されました。

あっ、そう言えば、たとえば古くなったソファを捨てたいときは、どうしたらいいでしょうか。

大きいゴミは、「粗大ゴミ」と言いますが、何曜日に出すか、書いてありません。

粗大ゴミなど、いくつかのゴミは、特別な捨て方をしなければなりません。

予約が必要な場合もあります。有料の場合もあります。

ゴミの分別は大変だと思うかもしれません。

でも、ゴミを分別することで「リサイクル」ができます。

ゴミが、きれいに新しい物に作り替えられて、もう一度使うことのできる「資源」になります。

ゴミのルールを守って捨てることは、暮らしている地域にも、地球にもやさしいことです。

地域に暮らす一人一人の協力が必要です。

ゴミの出し方について分からないときは、ぜひ近くに住んでいる人や役所の人に聞いてみましょう。